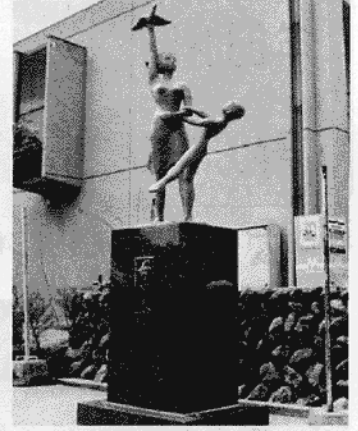




④完成した母子像  
⑤日光小学校の新入学児たち



母子像

総合会館前に建設中だった「母子像」が完成し、三月三十日午前十時から、星野市長はじめ関係者約五十人が出席して除幕式が行われました。(写真④)

この母子像は、相良建設株式会社と相良武氏が「総合会館の環境整備費に役立ててほしい」と、百万円ずつを寄付されたもので建設しました。台座は、足尾産の黒みかげ石製で高さ百三十五センチメートル、像は百八十七センチメートルの銅製です。

母の右手には平和の象徴であるハトがとまり、母と子が手を取りあっているこの像は、「市民の平和と福祉の向上」を願っているものです。

入学式

四月十日、日光小学校講堂で最後の入学式が行われました。(写真⑤)

これは、昭和十五年七月から進められている同校の新築工事が、来春には完成し、四月開校になるため、現在の校舎で入学式が行われるのは今年が最後になったものです。

現在の校舎は昭和二年に完成し、以来、今年で五十五回の入学式を行い、約一万一千人の新入学児童を迎えました。

梅まつり

四月三日から二十日までの十八日間行われた和泉梅園(北山太一組合長)の「梅まつり」は、期間中約一万人の人出でにぎわいました。

市民のひろば

特に十二日の日曜日は、初夏のような陽気に誘われて、日光はもとより、市外からも多勢の観梅客が訪ずれ、終日にぎわいをみせていました。また、梅林の近くにある作業所も売店に早や変わりし、いもぐしや焼きとりが飛ぶように売れていました。

この梅園は、昭和四十五年に七ヘクタールの土地を造成したもので、約三千本の梅が植栽されています。この梅まつりも軌道にのり、組合員は、この梅園を日光の新名所にしようとはりきっています。(写真⑥)



▲⑥日光の新名所に期待される和泉梅園

善意銀行

三月中旬に、日光善意銀行に預託された方々は、次のとおりです。善意あふれたご協力に深く感謝いたします。(敬称略)  
(現金預託)

人事

- ◎市内要援護者に 知野イネ(稲3) 千円
- ◎市内の恵まれない子に 植木善見(匠町) 二千元
- ◎下野三楽園に 竹沢啓三(下鉢) 千円
- ◎交通遺児に 日光観光ハイヤー 三千元
- ◎市内身体障害者に 親和会孔版社有志(清2) 四千元
- ◎身体障害者友愛会に 匿名 四千元
- ◎社会福祉に 岡崎義夫(戰場が原) 三千元
- ◎老人福祉に 寺田良一(安川) 六千元
- ◎身体障害児に 市企画課親睦会 千八百七十六円
- ◎心身障害児父母の会に 小林芳樹(匠町) 一万二千元
- (物品預託)
- ◎身体障害児に 鶴島アヤ(安川) おしめ二十枚
- (香典返し廃止による預託)
- ◎一般福祉に 酒井弥一(細尾) 三万円
- (一) 内は前任者、敬称略
- ◆自治会長(4・1)
- ▽清滝丹勢町 竹田守(渡辺康)▽清滝新細尾町 太田啓三(斎藤金吉)▽山内 中里昌念(宇仁繁儀)
- ◆都市計画審議会委員(4・1)
- ▽専門委員 内田義一(野中亘)▽委員 神山宏(北村豊彦)▽同 南知三(川井潤)
- ◆保健委員会委員(4・1)
- ▽清滝新細尾町 手塚晃(三浦勝男)▽清滝丹勢町 竹田守(渡辺康)▽野口 福田光男(湯沢秀雄)
- ◆社会教育委員会・公民館運営審議委員会(4・1)
- ▽委員 速水敬四郎(須藤光二)▽同 福田実(竹中幸司)